

野田市関宿総合公園及び野田市営関宿少年野球場指定管理者 候補者選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 令和5年2月13日（月）午前10時から午前10時40分まで
開催場所 野田市役所4階 職員控室
出席委員 総務部長（副委員長）、企画財政部長、行政管理課長、管財課長
欠席委員 副市長（委員長）、自然経済推進部長
事務局 スポーツ推進課、行政管理課

1 開会

<副委員長から開会の言葉>

2 議事

令和4年度（4月～12月）野田市関宿総合公園及び野田市営関宿少年野球場業務報告書及び令和5年度野田市関宿総合公園及び野田市営関宿少年野球場業務計画書の審査について

<事務局から令和4年度（4月～12月）野田市関宿総合公園及び野田市営関宿少年野球場業務報告書及び令和5年度野田市関宿総合公園及び野田市営関宿少年野球場業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

- 業務報告書1ページ利用促進への取組について、ネーミングライツ契約について記載があるが、愛称ができたことで何か変化はあったのか。
→ 利用者との交流の中で、愛称の由来等について聞かれることが多く、野田市関宿総合公園の管理運営を毎日興業株式会社が行っていることの認知度向上につながっている。「関宿パークMOPS」が市民にとってより親しみやすい施設となるような管理運営を今後も実施していく。
- 業務報告書3ページ自主事業等への取組について、教室事業として「卓球教室」及び「卓球中級サークル」があるが、違いを教えてください。
→ 「卓球教室」は、誰でも参加でき、講師が指導を行う初心者を対象とした教室である。「卓球中級サークル」は、「卓球教室」よりもレベルが高く、打ち合いを中心に楽しむサークルである。
- 「卓球中級サークル」は、「卓球教室」と違い講師がいないということだが、毎日興業株式会社主催の自主事業として行っているのか。
→ 毎日興業株式会社主催であり、「卓球教室」と同じ月額料金で、自主事業として行っている。

- 業務報告書 7 ページ要望や苦情への取組について、昨年度の選定委員会で、事業者と担当課との定例ミーティングの開催について質問し、「定期的に施設にこちらから出向いて意見交換をする場を設けたい」との回答があったが、その後施設を訪問し、意見交換は行っているのか。
 - 昨年度指摘いただいたとおり、館長が来庁した際に報告を受けるだけではなく、定期的に市職員が施設を訪問し、現場の課題等について共有している。

- 業務報告書 7 ページ、要望や苦情への取組について、クレーム対応プロセスの中に団体本部ミーティングでの情報共有とあるが、一般財団法人野田市開発協会及びそのほかの施設の指定管理者と情報共有及び意見交換等の取組は行っているのか。
 - 一般財団法人野田市開発協会とは、不定期ではあるが、新型コロナウイルス感染症対策等の共有すべき事項について、意見交換を行っている。

また、2 か月に一度毎日興業株式会社が指定管理を行っている「毎日興業久喜アリーナ」、「羽生市体育館」及び「練馬区上石神井体育館」等の館長が集まり会議を行っており、各施設の課題、対応策、イベント、自主事業等についての情報交換を行い、施設運営に役立てている。

- 業務報告書 21 ページ事故、要望及び苦情対応状況について、11 月 1 日のグラウンドゴルフ大会中に参加者が救急搬送されたとあるが、22 ページの年度事業報告では 11 月開催のグラウンドゴルフ大会は中止したとある。別の大会と思われるが、利用団体の大会は認める一方、指定管理者主催の大会は中止したことで、何か意見等はなかったのか。
 - 市内の新型コロナウイルス感染者の推移を鑑み、指定管理者主催の大会は中止とした。大会の中止について、利用団体の取りまとめを行っている「野田市グラウンド・ゴルフ協会」に状況を説明し、協会から利用団体に対し周知したが、特に意見等はなかった。なお、利用団体主催の大会の開催については、主催者の判断で決定している。

- 事務局説明において関宿ふれあい広場の無断利用について説明があったが、どのようにして発見したのか。
 - 指定管理者が施設の見回りをした際に発見した。

- 令和 4 年度 7 月 1 日から 9 月 30 日までの間、記録的な猛暑による熱中症等の予防の観点から、公共施設のキャンセル料を免除することとなったが、キャンセルとなった件数及び金額について教えてほしい。
 - キャンセル料を免除した件数及び金額については、館内施設は 4 件で 9,970 円

であった。なお、館外無料施設のキャンセルは5件であり、館内、館外ともに熱中症予防を理由としたキャンセルはなかった。

○ 業務計画書7ページ経費削減のための取組について、電力消費量削減のためサブアリーナ照明のLED化を5年度に実施するとあるが、どの程度の電力使用量の削減が見込めるのか、メインアリーナ照明のLED化による電力使用量削減実績と合わせて説明してほしい。

→ サブアリーナ照明のLED化事業の効果について、LED化事業の実施予定業者の試算によると、74パーセント程度の削減が見込めると報告を受けた。なお、メインアリーナ照明LED化による電力使用量削減実績については、体育館全体で電気料金が請求されるため、メインアリーナのための電力使用量の測定ができないが、メインアリーナ照明LED化前後の体育館全体の電力使用量実績を比較したところ、20パーセント程度の削減を確認することができた。

○ サブアリーナ照明のLED化の実施スケジュールについて教えてほしい。

→ 現在、サブアリーナは新型コロナウイルスワクチンの接種会場として使用されていることから、時期については、今後指定管理者とスポーツ推進課が協議した上で決定する。なお、工期は約一週間となる見込みである。

○ 業務計画書18ページ年度事業計画について、関宿総合公園祭りの内容について教えてほしい。また、グラウンドゴルフ大会の開催は、4年度は市民大会を含め3回としていたが、5年度は1回となるのか。

→ 関宿総合公園祭りの内容については、ピンポン射的、スーパーボールすくい等の「こども縁日」、実業団による「バドミントンクリニック」、元日本代表選手コーチによる「卓球クリニック」、ボッチャ等の「パラスポーツ体験」の実施を予定している。

グラウンドゴルフ大会については、4年度までは、市民大会に加え、グラウンドゴルフの普及を目的とした大会を年2回開催していたが、5年度からは市民大会のみの開催としている。

○ 関宿総合公園祭りは、収支計画に記載されていないが、費用はかからないのか。

→ 指定管理者の自主事業として実施する予定であり、費用については指定管理料に含まれないため、収支計画には記載されていない。

○ グラウンドゴルフ大会が5年度から1回の開催になることについては、「野田市グラウンド・ゴルフ協会」には説明しているのか。

→ 大会の開催回数については指定管理者と協会が協議した上で決定している。

- 業務計画書 20 ページ収支計画の支出について、光熱費の市場価格高騰に伴い、電気料金の予算額を増額しているが、そのほかの予算で、指定管理者の経営努力で予算を縮減できる項目はないか確認したか。
 - 予算額を精査し、高騰を見込み増額した電気料金に組替えできるものはないか検討したが、仕様書の基準を満たす事業運営を行うに当たり、これ以上の組替えはできない。電気料金を少しでも縮減できるように、不要な照明はこまめに消す等管理運営の基本を徹底的に実施し、電力量の削減に努めていく。

- 野田市では、5 年度に「健康スポーツ文化都市宣言」を計画しているが、記念事業を実施することは可能か。
 - 基本協定書の仕様書において、「野田市によるスポーツの推進に寄与するための新たな事業を一つ以上提案すること」とあることから、指定管理者とスポーツ推進課で協議し、「健康スポーツ文化都市宣言」に寄与できる事業を検討していく。

<審議の結果>

令和 4 年度(4 月～12 月)野田市関宿総合公園及び野田市営関宿少年野球場業務報告書及び令和 5 年度野田市関宿総合公園及び野田市営関宿少年野球場業務計画書について承認

3 閉会